

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	実践臨床教育課程
コース等名	教育心理学コース
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。</li> <li>2. 自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。</li> <li>3. 自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。</li> </ol>	
実践臨床教育課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間教育の意義を常に問い続け、時代を超えた教育の理念とともに時代に応える教育の在り方に関心をもち、学校教育、生涯教育などの幅広い分野で貢献する意欲をもつ人材を養成する。</li> <li>2. 人間に対する愛情と、人間の発達や社会的適応などについて深く理解し心理学的な素養をもって社会貢献を目指す人材を養成する。</li> </ol>	
実践臨床教育課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間教育学の専門諸領域の基礎的知識・方法論を修得し、教育に関する問題意識と実践的能力をもって社会に貢献することができる。</li> <li>2. 心理学の研究手法、心理学および心理臨床の専門諸領域、心理学研究の実践など、心理学全般にわたる基礎的な知識や方法論を修得し、人間の発達や社会的適応などについて理解できる。</li> </ol>	
教育心理学コースの教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間に対する愛情をもち、謙虚にそして真摯な態度をもって研究と実践に取り組むことができる人材を養成すること。</li> <li>2. 変動する社会においても物事の本質を理解しようとする姿勢をもち、目に見えるかたちで表れる心の世界と目には見えない心の世界など、心の多様性を理解する人材を養成すること。</li> </ol>	
教育心理学コースの Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	

- 1．心理学の観点から事象を解明するための方法や視点について理解し，目的に応じた実証的・了解的な手法を用いてデータを収集し検討するための基本的な方法論を身につけている。
- 2．学校・家庭・職場などにおいて，心理学的な援助の必要な状態にある人々を理解するための心理アセスメントや，心理学的な援助法について基礎的なことがらを身につけている。
- 3．インフォームド・コンセント，守秘義務，基本的な人権の尊重など心理学的な調査や面接および援助を行う際に必要な手続きとその重要性を理解しており，心理学の専門家として取るべき基礎的な態度をそなえている。